

平成 29 年度 “KOSEN（高専）4.0” イニシアティブの評価に係る推進会議所見

- このたび、独立行政法人国立高等専門学校機構 “KOSEN（高専）4.0” イニシアティブ推進会議は、平成 29 年度 “KOSEN（高専）4.0” イニシアティブについて、51 国立高等専門学校から申請された 96 件の事業計画に関して、各国立高専の校長による書面審査及び本推進会議委員による面接審査を行い、37 件の支援対象候補事業を選定した。
- 本事業は、「新産業を牽引する人材育成」、「地域への貢献」、「国際化の加速・推進」の 3 つの方向性を軸に、場合によっては複数の方向性を組み合わせ、各国立高専の強み・特色を伸長することを目的とし、第 4 期中期目標期間（平成 31 年度から 5 年間）に向けたカリキュラムの改訂や組織改編などを伴う取組を通じて、各国立高専における在り方・役割（ミッション）を自ら見つけ直すことが期待されるものである。
- 選定された 37 件の事業は、第 4 期中期目標期間に向けて、事業を着実に推進するとともに、高専教育の高度化を牽引する先導的取組として、取組の全学への展開を図りつつ、国立高等専門学校機構と連携し、他の高専へ取組のノウハウを提供することにより、全国的な取組の展開が期待される。一方で、取組の実現可能性や成果を高める観点から、事後的に検証可能な成果指標の設定等が必要であり、留意事項を付した上で選定することとしており、取組の一層の工夫、改善が必要である。
- また、残念ながら選定されなかった事業については、方向性等が大きく否定されるものではないものの、総花的な取組内容から、強み・特色が不明確であり、本事業の目的に沿った取組による成果が不十分と感じられる等、第 4 期中期目標期間に向け、取組方法を再検討するとともに、外部機関との連携や学内資源の再配分等により、まずは自立的に取組を進めることも考えられる。
- 最後に、本事業を通じて、各国立高専と地域や産業界、学校種を越えた連携等により、高専教育の高度化が一層図られ、我が国の産業界を牽引する人材が輩出されることに期待したい。文部科学省においては、今後もこのような国立高専の強み・特色を伸長する取組に対して財政支援することはもとより、高専教育の更なる充実に向けた基盤的経費の着実な確保に努めてもらいたい。

平成 29 年 6 月 26 日

独立行政法人国立高等専門学校機構
“KOSEN（高専）4.0” イニシアティブ推進会議
座長 三島 良直